

委員の主な意見

【まちづくりの方向性】

- 地域で作成したまちづくりビジョンと指針の方向性が概ね一致しており良い
- 将来像は、地域のこれまでの魅力や財産を大切にしながら今後のまちづくりを考えていくという思いが込められている
- 防災拠点の整備など、防災の視点も必要
- 様々な世帯が暮らせる市営住宅の整備を進めることが望ましい
- 他地域との連携やネットワークの視点が必要
- 地域の中心部の商業施設等を核としたにぎわいづくりが必要
- 熊の沢公園を活かし、地域の魅力向上を図る
- 地域外の人も魅力的に感じるまちの特徴が必要
- 住宅セーフティネットとしての市営住宅のあり方など、福祉の視点についても重要
- テクノパークとの連携による、小中一貫校への出前授業等の提供や交流機会の創出、職員の居住推進
- 子育てが落ち着いてから働ける場所の充実
- ソーラーパネルの導入や地域暖房の熱エネルギーの活用による融雪など、雪に強い地域づくり
・・・など



【まちづくりの進め方】

- 地域が変わるきっかけとなるので、まずは義務教育学校の整備を進めてほしい
- 住民参加型で、地域の声を取り入れながら取組を進める
- 具体的な取組の内容や担い手、資金調達、実現性などの検討が重要
- 国の助成制度を活用し、まちづくりを進める
- 具体的なアイデアを地域住民だけでなく、民間事業者からも募る
・・・など



今後の予定

第3回の検討委員会は令和5年1月以降の開催を予定しています。
主な議題は、第2回検討委員会までの内容を踏まえて、土地利用のイメージも含めたまちづくり指針素案の概要を示す予定です。（まちづくり指針は令和5年度中の策定を予定しています。）

問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課（調整担当）
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
TEL：011-211-2545/FAX：011-218-5113/E-mail：chiiki-chosei@city.sapporo.jp

当ニュースや検討委員会の開催状況・議事概要などは、札幌市公式ホームページにも掲載中

【URL： https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/momiji/momijidai_top.html】



もみじ台地域 検索



札幌市からのお知らせ

令和4(2022)年12月発行

もみじ台まちづくりニュース No.2

もみじ台まちづくりビジョンが提出されました

令和4年9月21日、地域が進めるまちづくり活動の指針として作成された「もみじ台まちづくりビジョン」（以下「ビジョン」）が札幌市に提出されました。

このビジョンは、地域の各種団体から構成されるもみじ台まちづくり会議のワーキンググループが中心となって、令和元年度から意見交換を重ね、検討されたものです。

ビジョンでは、地域が目指す将来像や目標を掲げ、将来像の実現に向けた取組案のほか、将来のまちの姿をイメージしたゾーニング案も示されています。



手交式の様子

第2回まちづくり指針検討委員会を開催しました

「もみじ台地域まちづくり指針」（以下「まちづくり指針」）の策定に向けて、今年3月に開催した第1回に続き、第2回目の検討委員会を開催しました。

◆開催概要

日時：令和4年（2022年）9月30日（月）13時30分～15時30分
会場：厚別区役所 3階講堂

◆会議概要

事務局から、検討を進めている「まちづくり指針」について、まちづくりの基本的な考え方、目標や将来像などの案を説明し、まちづくりの方向性や進め方などについて意見交換を行いました。

もみじ台地域における課題の整理

もみじ台地域の概要と現状、第1回検討委員会でのご意見等及びまちづくりビジョンをもとに、もみじ台地域における課題を以下のとおり整理しました。

①人口減少
(まちの活力低下)

②高齢化
(まちづくりの
担い手不足)

③少子化
(児童生徒数の減少)

④市営住宅等の
公共施設の老朽化

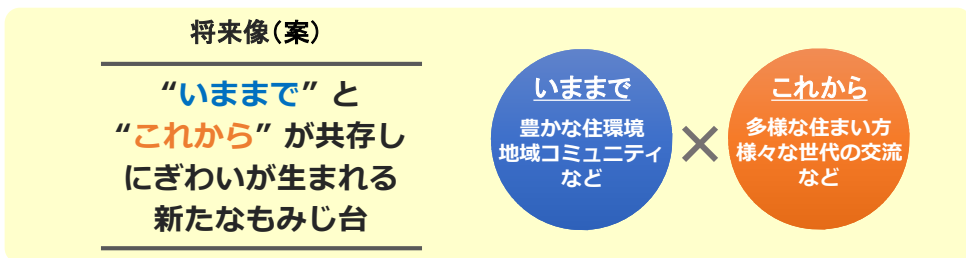
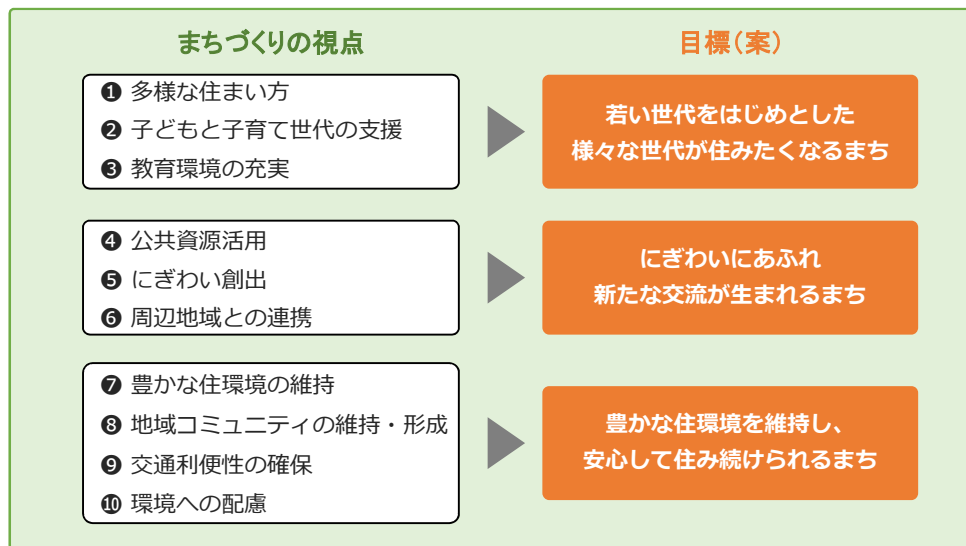
まちづくり指針(案)の検討

●まちづくりの基本的な考え方

全市的に人口減少が見込まれる中、
持続的な地域コミュニティを形成できるよう、多様な世代の流入を図る

●目指す将来像・目標

地域課題と検討委員会やまちづくりビジョンの意見から導き出されたまちづくりの視点を踏まえ、もみじ台地域が目指す将来像と目標の案を設定しました。



●土地利用の再編の考え方

もみじ台地域の将来像及び目標の実現に向け、まちづくりの基盤となる土地利用のあり方を整理するにあたり、地域全体の土地利用の基本方針及び市営住宅等公共施設に関する取組の方向性を以下のとおり整理しました。

◆土地利用の基本方針

- 市営住宅等公共施設の再編に伴い創出される跡地の活用による魅力向上
- 既存の閑静で良好な住環境の維持
- 地域課題に対応した地区計画等の土地利用計画制度の運用

◆市営住宅の方向性

住宅セーフティネット機能の維持を前提としながら管理戸数を検討し、まちづくりと連携した集約・建替えによる再編を推進する。

◆義務教育学校の設置検討

地域の要望及び札幌市の方針を踏まえ、通学区域が概ね同一であるもみじの森小学校、もみじの丘小学校、もみじ台中学校を統合し、地域の中心部で義務教育学校の設置を検討する。

◆地域コミュニティ施設の複合化検討

義務教育学校の検討状況を踏まえ、地域コミュニティ施設の複合化について、まちづくり指針においてまちづくりの方向性を整理した上で、地域の意向を確認しながら検討する。

◆もみじ台南中学校の跡活用

まちづくり指針においてまちづくりの方向性を整理した上で、地域の意向を確認しながら検討する。

土地利用再編に向けたロードマップ(案)

